

[卒業時の学習到達目標] 情報処理・スポーツ健康・総合教養（基礎クラス）

自分の興味・関心のある事柄について、ニュース、新聞、インターネット上から情報を探し、内容を大体理解することができる。また、英語への関心を失わず、自ら英語を学び続けることができる。（数値目標：卒業までに英検 3 級、若しくは準 2 級）

	1 学年			2 学年			3 学年		
	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期
聞く力	スピードやポーズを配慮すれば教科書の意味のまことにスラッシュを入れることができる。	スピードやポーズを配慮すれば教科書の内容をオーバーラッピングでできる。	スピードやポーズを配慮すれば教科書の内容をシャドウイングできる。	教科書で学んだ英語を聞いて日本語の質問に答えられることができる。	教科書で学んだ英語を聞いて簡単な英語の質問に答えることができる。	ヒントを与えれば、初めて聞く英語の内容について、日本語や英語の質問に答えられることができる。	初めて聞く程度まとまった量の英語の内容について、日本語の質問に答えることができる。	初めて聞く英語の内容について、簡単な英語の質問に答えられることができる。	様々な場面の英語を聞き複数の情報を集め、7割程度理解できる。 (英検準 2 級程度)
話す力	既習の単語や文型をヒントにし自分や自分の興味関心について簡単な英語で説明し、簡単な質問に答えられる。週末の出来事について、簡単な英語で述べることができる。	好きな活動や趣味について平易な英語で説明することができる。話題や場面にあった相槌や会話表現を使うことができる。	聞き手に伝わるように工夫しながら、物語の一場面を正しい発音やイントネーションで暗唱できる。予定について簡単な英語で述べることができる。	教科書で扱った内容について英語の質問に口頭で答えられる。他者を紹介したりできる。	教科書で扱った内容について英語の質問に口頭で答えられる。自分の体調や病気の症状について簡単なことなら説明できる。	聞き手に伝わるように工夫しながら、自分の夢や進路などについて 1 分以内のスピーチができる。	授業で扱った内容について、英語の質問に口頭で答えられる。一連の状況を平易な英語で説明できる。 (英検準 2 級程度)	聞き手に伝わるように工夫しながら、日本文化や地域について 1 分以内のスピーチが出来る。	身近な社会問題等について、自分の感想や意見を語彙集の助けを借りれば簡単な英語である程度論理的に述べるることができる。
読む力	単語や文型をヒントに教科書の本文を日本語に訳することができる。日常生活に関する教科書の文章（110 語程度）を理解することができる。	単語や文型をヒントに教科書の本文を訳しながら 140 語程度の英文の内容を理解することができる。	単語や文型をヒントに教科書の本文を日本語に訳しながら、日本や外国の文化に関する 200 語程度の文章を理解することができる。	単語や文型をヒントに 180 語程度の文章の概要や大切な情報を理解することができる。簡単な英文なら日本語に訳さずに理解できる。	単語や文型をヒントに 250 語程度の文章の概要や大切な情報を理解することができる。簡単な英文なら日本語に訳さずに理解できる。	単語や文型をヒントに 300 語程度の文章の概要や大切な情報を理解することができる。簡単な英文なら日本語に訳さずに理解できる。	文の構造や文同士のつながり、段落の要点を理解して、300 語程度の文章の内容を読み取ることができる。簡単な英文なら日本語に訳さずに理解できる。	文の構造や文同士のつながり、段落の要点を理解して、400 語程度の文章の内容を読み取ることができる。簡単な英文なら日本語に訳さずに理解できる。	様々なジャンルの英文を読み、文の構造や文同士の繋がり、段落の要点を理解して 450 語程度の文章をある程度正確に読み取ることができる。
書く力	例文を参考にして、Eメールや手紙で自分の近況を簡単な文章で報告することができる。 (4～5 文程度)	例文を参考にして、身近なテーマについて簡単な文章で書くことができる。(4～5 文程度)	文型や文法に注意して、文化や社会的テーマに関して意見を簡単な文章で書くことができる。(4～5 文程度)	時制や語順など日本語との違いを理解し、語彙集を用いて、自分についての簡単な英文を書くことができる。	時制や語順などの語法を理解し、それらを用いて身近なテーマに合わせた英文を書くことができる。	時制や語順などの語法を理解し、それらを用いてテーマに合わせた具体的な英文を書くことができる。	学習した題材に関して、発展的に情報を調べて、簡単な文章でスピーチを書くことができる。(5 文程度)	学習した題材に関して、発展的に情報を調べて、英文パラグラフの構成を意識してスピーチ原稿を書くことができる。	社会問題について 3 パラグラフ程度のスピーチ原稿を辞書を用いて書くことができる。

[卒業時の学習到達目標] 情報処理・スポーツ健康・総合教養コース（標準クラス）

自分の興味関心のある事柄について、ニュースや新聞、インターネット上から情報を探し、内容を大体理解することができる。また、英語への関心を失わず、自ら英語を学び続けることができる。（数値目標：卒業までに英検準2級取得）

	1 学年			2 学年			3 学年		
	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期
聞く力	スピードやポーズを配慮すれば、教科書の意味のまとまりにスラッシュを入れることができる。	スピードやポーズを配慮すれば、教科書の内容をオーバーラッピングできる。	スピードやポーズを配慮すれば、教科書の内容をシャドウイングできる。	教科書で学んだ英語を聞いて、日本語の質問に答えることができる。	教科書で学んだ英語を聞いて、簡単な英語の質問に答えることができる。	初めて聞く英語の内容について、書かれた日本語の質問に答えることができる。	初めて聞く英語の内容について、日本語の質問に答えることができる。	初めて聞く英語の内容について、簡単な英語の質問に答えることができる。	様々な場面の英語を聞き、複数の情報を集め、7 割程度理解できる。 (英検準 2～2 級程度)
話す力	既習の語句や文型をヒントに簡単な自己紹介ができ、簡単な質問に答えられる。週末の出来事について、簡単な英語で述べるができる。	好きな活動や趣味について平易な英語で説明することができる。話題や場面に合った相槌、会話表現を使うことができる。	聞き手に伝わるように工夫しながら、物語の一場面を正しい発音やイントネーションで暗唱できる。予定について、簡単な英語で述べることができる。	教科書で扱った内容について英語の質問に口頭で答えられる。他者を紹介したり、自分の体調や病気の症状を説明することができる。	教科書で扱った内容について英語の質問に口頭で答えられる。身近なテーマについて他の人と英語で短いやり取りができる。	聞き手に伝わるように工夫しながら、自分の夢や将来などについて 1 分程度のスピーチができる。	授業で扱った内容について、英語の質問に口頭で答えられる。一連の状況を平易な英語で説明できる。	聞き手に伝わるように工夫しながら、日本文化と地域のことについて 1 分程度のスピーチができる。	身近な社会問題等について、自分の感想や意見を簡単な英語である程度論理的に述べるができる。
読む力	単語や文型をヒントに教科書の文章を日本語に訳すことができる。日常生活の題材に関する教科書の文章（110 語程度）を理解することができる。	単語や文型をヒントに教科書の文章を日本語に訳しながら、140 語程度の英文の内容を理解することができる。	単語や文型をヒントに日本語に訳しながら、日本や外国の生活や文化に関する 200 語程度の文章を理解することができる。	単語や文型をヒントに、180 語程度文章の概要や大切な情報を理解することができる。簡単な英文なら日本語に訳さずに理解できる。	単語や文型をヒントに、250 語程度の文章の概要や大切な情報を理解することができる。簡単な英文なら日本語に訳さずに理解できる。	単語や文型をヒントに、300 語程度の文章の概要や大切な情報を理解することができる。簡単な英文なら日本語に訳さずに理解できる。	文の構造や文同士のつながり、段落の要点を理解して、300 語程度の文章の内容を読みとることができる。簡単な英文なら日本語に訳さずに理解できる。	文の構造や文同士のつながり、段落の要点を理解して、400 語程度の文章の内容を読みとることができる。簡単な英文なら日本語に訳さずに理解できる。	様々なジャンルの英文を読み、文の構造や文同士のつながり、段落の要点を理解して 500 語程度の文章を正確に読み取ることができる。
書く力	例文を参考にして、Eメールや手紙で自分の近況を、簡単な文章で報告することができる(5 文程度)。	例文を参考にして、身近なテーマについて簡単な文章で書くことができる(5 文程度)。	文型や文法に注意して、文化や社会的テーマに関しての意見を簡単な文章で書くことができる。(5 文程度)	時制や語順など日本語との違いを理解、意識して自分についての簡単な英文を書くことができる。	時制や語順などの語法を理解し、それらを用いてテーマに合わせた英文を書くことができる。	時制や語順などの語法を理解し、それらを用いてテーマに合わせた具体的な英文を書くことができる。	学習した題材に関して発展的に情報を調べて、簡単な文章でスピーチを書くことができる(5～6 文程度)。	学習した題材に関して発展的に情報を調べて、英文パラグラフの構成を意識して、スピーチ原稿を書くことができる。	社会問題について、3～4 パラグラフ程度のスピーチ原稿を辞書を用いて書くことができる。

[卒業時の学習到達目標] 文理特進クラス

4技能を生かしてニュース、新聞、インターネット等の海外メディアからの情報を活用したり自己表現ができるようになる。また、英語への関心を失わず、自ら英語を学び続けることができる。(数値目標：1年ごとに英検受検を必修とし、3年間で英検準2級か2級を取得(半分以上が2級取得))

	1 学年			2 学年			3 学年		
	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期
聞く力	スピードやポーズを配慮すれば教科書の意味のまとまりにスラッシュを入れることができる。	スピードやポーズを配慮すれば教科書の内容をオーバーラッピングできる。	スピードやポーズを配慮すれば教科書の内容をシャドーウィングできる。	教科書で学んだ英語を聞いて日本語の質に答えることができる。	教科書で学んだ英語を聞いて簡単な英語の質問に答えることができる。	初めて聞く英語の内容について日本語や英語の質問に答えることができる。	初めて聞くある程度まとまった量の英語の内容について英語の質問に答えることができる。	センター試験を含む様々な英語の内容について複数の情報を聞き取るができる。	様々な場面の英語を聞き、複数の情報を集め7割程度理解できる。
話す力	既習の単語や文型をヒントにし、自分や自分の興味関心について平易な英語で説明し、簡単な質問に答えられる。人の簡単な動作を単文で説明できる。(英検3級程度)	身近なテーマについて賛成か反対かの意見を述べ、1文で理由が説明できる。話題や場面に合った会話表現が使える。	聞き手に伝わるように工夫しながら物語の一場面を正しい発音やイントネーションで暗唱できる。	教科書で扱った内容について英語の質問に口頭で答えられる。人の少し複雑な動作について説明できる。(英検準2級程度)	教科書で扱った内容について英語の質問に口頭で答えられる。身近なテーマについて他の人と英語で短いやりとりができる。	聞き手に伝わるように工夫しながら自分の夢や進路などについて1～2分程度のスピーチができる。ALTとの日常会話ができる。	授業で扱った内容について英語の質問に口頭で答えられる。一連の状況を平易な英語で説明できる。(英検2級程度)	聞き手に伝わるように工夫しながら日本の文化や地域の歴史について1～2分程度のスピーチができる。	身近な社会問題等について自分の感想や意見を簡単な英語である程度論理的に述べるができる。
読む力	単語や文型をヒントに教科書の本文を日本語に訳して英文の内容を理解し、正確に読み取れる。1500語レベル	単語や文型をヒントに教科書の本文を日本語に訳して英文の内容を理解し、必要な情報を読み取れる。	単語や文型をヒントに教科書の本文を日本語に要訳して英文の概要を理解し、必要な情報を読み取れる。	教科書の本文を日本語に正確に訳しながら、英文の構造や文士のつながり、段落の要点を理解して概要を読み取れる。3000語レベル	教科書の本文を日本語に訳さずに、英文の構造や文士のつながり、段落の要点を理解し、概要と必要な情報を読み取れる。	教科書の本文を日本語に訳さずに、英文の構造や文士のつながり、段落の要点を理解して内容を正確に読み取れる。	文の構造や文士のつながり、段落の要点を理解して制限時間内に内容を正確に読み取れる。4500語レベル	センター試験を含む様々なジャンルの英文を読み、文の構造や文士のつながり、段落の要点を理解して制限時間内に内容を正確に読み取れる。	新聞等の日常生活での読む活動を通して、文の構造や文士のつながり、段落の要点を理解して内容を正確に読み取れる。
書く力	英文の文型や品詞の働きを理解、意識して自分についての簡単な英文を書くことができる。Forest 暗唱例文を5割程度習得している。辞書の活用方法を理解し、様々な場面で用いる。	英文の文型や品詞の働き、文法を理解、意識して自分についての簡単な英文を書くことができる。Forest 暗唱例文を6割程度習得している。	英文の文型や品詞の働き、文法を理解、意識して自分についての具体的な英文を書くことができる。Forest 暗唱例文を7割程度習得している。	時制や語順など日本語との違いを理解、意識して自分についての簡単な英文を書くことができる。	時制や語順などの語法を理解し、それらを用いてテーマに合わせた英文を書くことができる。	時制や語順などの語法を理解し、それらを用いてテーマに合わせた具体的な英文を書くことができる。	英文パラグラフの構成を理解、意識して自分について3～4パラグラフ程度のスピーチを書くことができる。	身近なテーマについて辞書を用いて3～4パラグラフ程度のスピーチを書くことができる。	社会問題について3～4パラグラフ程度のスピーチ原稿を辞書を用いて書くことができる。

